

第60回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:令和5年3月28日)

開催日及び場所			令和4年9月15日(木)水産庁外国人応接室	
委員			戸塚 輝夫(公認会計士)(委員長) 山中 健児(弁護士) 西村 絵美(水産大学校講師)	
審議対象期間			令和4年4月1日～令和4年6月30日	
審議対象案件			146件 うち、1者応札案件60件 	

	意見・質問	回答等
	1. 令和4年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業 ・令和3年度から事業を分割して募集を掛けていられる様に思えるが、分割することで、新規参集がしやすくなるということは考えにくいのでしょうか。 2. 令和4年度効果的な外来魚等抑制管理技術開発事業 ・内水面の外来魚の生息場所の把握調査というのは、通常どのように行っているのでしょうか。 3. 令和4年度養殖業成長産業化技術開発事業 (特になし) 4. 令和3年度水産の動向及び令和4年度水産施策の編集等支援業務(令和4年度) (特になし) 5. 船舶航跡システム(VMAC)に係る管理用端末及び船舶用端末の設置並びに導入・保守・運用業務 (特になし) 6. フルカラーデジタル複合機賃貸借及び保守業務 (特になし) 7. 令和4年度スマート水産業推進事業のうちスマート水産業システム整備推進委託事業 (特になし)	・結果として1者応札になってしまっています。専門性の高い分野ということもあるので、分割したとしてもなかなか増えないということもあるかもしれません。 ・実際に漁業者からの情報を得て把握する部分もありますし、環境DNAとか、小型発信器を付けたりなど、いろいろな手法で把握するような調査を行っています。 — — — — —
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
〔これらに対し部局長が講じた措置〕		
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		